

マイナスの宇宙のエネルギー。ビッグバンから始まった宇宙を「プラスの宇宙」とし、ビッグバンに至る宇宙を「マイナスの宇宙」とする。進む方向が逆であるからです。

小堀 しづ

・マイナスの宇宙の電磁気の式。放出した電磁気1個のエネルギー(=aJ)によってできる場のAは、 $A=2.653 \times 10^{20} \times a$ 、です。(特願 2010-210141) ・1束の電磁気数=場のA÷(放出した電磁気1個のエネルギーによってできる場のA)=場のA÷($2.653 \times 10^{20} \times a$)=場のA× $3.769 \times 10^{-21} \text{J} \div a$ 。

・1束の電磁気のエネルギー=1束の電磁気数×1個の電磁気のエネルギー=場のA× $3.769 \times 10^{-21} \text{J} \div a \times 1$ 個の電磁気のエネルギー=場のA× $3.769 \times 10^{-21} \text{J} \div a \times a$ =場のA× $3.769 \times 10^{-21} \text{J}$ 。

・陽子の中の3.1MeVのクォークと見做されている電磁気の束(=輪)の式。 $A=3 \times 10^8$ の場で、1束(=輪)の電磁気数は 6.250×10^8 個で、1束(=輪)の電磁気のエネルギーは $4.967 \times 10^{-13} \text{J}$ です。(特願 2015-117134) 1束の電磁気数=場のA÷x。 $x=3 \times 10^8 \div (6.250 \times 10^8 \text{個})=0.480$ 。1束の電磁気数=場のA÷0.480。・1束の電磁気のエネルギー=場のA×y。 $y=4.967 \times 10^{-13} \text{J} \div (3 \times 10^8)=1.656 \times 10^{-21} \text{J}$ 。よって、1束の電磁気のエネルギー=場のA× $1.656 \times 10^{-21} \text{J}$ 。

・電子の中の5.7MeVのクォークと見做されている電磁気の束(=輪)の式。 $A=3 \times 10^8$ の場で、1束(=輪)の電磁気数は 3.619×10^9 個で、1束(=輪)の電磁気のエネルギーは $9.132 \times 10^{-13} \text{J}$ です。1束の電磁気数=場のA×x。 $x=3.619 \times 10^9 \div (3 \times 10^8)=1.206 \times 10$ 。1束の電磁気数=場のA× 1.206×10 。・1束の電磁気のエネルギー=場のA×y。 $y=9.132 \times 10^{-13} \text{J} \div (3 \times 10^8)=3.044 \times 10^{-21} \text{J}$ 。よって、1束の電磁気のエネルギー=場のA× $3.044 \times 10^{-21} \text{J}$ 。

マイナスの宇宙の1束の電磁気のエネルギーと陽子の中の3.1MeVのクォークと見做されている1束(=輪)の電磁気のエネルギーと電子の中の5.7MeVのクォークと見做されている1束(=輪)の電磁気のエネルギーはほぼ等しい。それで、マイナスの宇宙のエネルギーは地表のエネルギーの 3×10^8 倍です。